



暑さやコロナで運動の機会が減りますが、室内で興味を持って行える活動（写真はメーカーロゴ等のカード集め）をしています。背伸びしたりしゃがんだりして、カード6枚、コンプリート！！

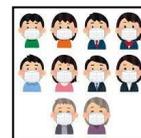


マスクの下は
こんなに素敵な
笑顔をお持ちです☺



目次

- ・「T・D・S・N (Tanpopo Daily Support News) 58」 <2～6ページ>
～マスクをつけるということを伝える～
- ・新任職員紹介 <6ページ>
- ・法人決算報告 <7ページ>
- ・後援会のご案内・ボランティアの募集・編集後記（編集部） <8ページ>



「こっとなはうす」というグループホームの職員をしております、鈴木と申します。もう1名の職員とともに4名の利用者さんの生活支援を行っています。利用者さんは、知的障害を伴う自閉スペクトラム症の方々です。

昨年から、新型コロナウイルスの影響で「日常」が中断され、誰もが経験したことのない不安やストレスの多い日々を過ごしていると思います。こっとなはうすの利用者さんも、日々の生活の一部となっていた日用品の買い物や、カラオケなどの余暇活動の中止を余儀なくされました。政府からは「不要不急の外出は極力避けて」と言われますが、こうも長く続けると全く外出しないわけにも行かないこともあります。そこで、考えなくてはいけない課題が発生しました。

それは...「マスクをつけること」です。

私が関わっている自閉スペクトラム症の方々の中には、マスクの着用を嫌がる人たち、もしくはしていない人たちが多くいると耳にしました。息苦しさだけでなく、肌に触れる感触への敏感さも影響しているかもしれません。当法人を利用頂いている利用者さんも例外ではありません。前号で紹介させて頂いたSさんのように、作業等で日頃から着用していた方は問題ありませんが、習慣になっていない方への伝え方はちょっとした工夫が必要でした。

「マスクを着けよう」。このことを伝えるには自閉スペクトラム症の方々の特性の理解が必要と感じました。私が勤務するこっとなはうすでマスクを着けるのを嫌がったのはお一人でしたが、他部署の職員にマスクに関して取り組んだ事例をいくつか聞きました。その中から、生活介護事業所ふぁずに通われている1名の方とこっとなはうすの方を含め、2名の利用者さんのケースを今回ご紹介させていただきます。両名とも重度、最重度の知的障害を伴う自閉スペクトラム症の方で、40代の男性です。

一人目はAさんです。ふぁずを利用しています。コロナ禍の状況になるまで、職員が知る限りご本人がマスクをする機会はありませんでした。しかしこの状況を鑑み、マスクをする必要があるだろうと考え、ご家族にご本人のマスク着用について伺ってみたところ、「マスクの着用はできないと思う」とのお答えでした。今まではほぼ経験が無い中で、ご家族がそうお答えになったのも無理はありません。

ふぁずの職員はご本人と関わる際、基本的にスモールステップで成功体験を積み重ねていけるように関わってきました。ご本人は不快な思いを経験すると、活動への意欲が下がってしまう面があるからです。その為、新しく取り組みをする際、出だしはとても重要です。担当職員は、ご本人が学生時代、給食当番などでマスクをつけた、もしくはそのやりとりを経験したと推測し、その頃主流であった布マスクから始めることにしました。

導入場面としてまずはご本人が好きで集中して行うパズルを組み立てる約5分の活動を選びました。そして「パズル中は着用してください」とお伝えしました。マスクの素材、所要時間(マスクを外すまでの見通し)、場面など、今までの評価から成功が見込まれる条件を考え、取り組みを開始したのです。



作業中のAさん



時には作業のあとも、
マスクを着用したままでいることも！

結果は見込みの通り、時間内は着けていることが出来ました。現在では次の段階に進んで、パズルの時間の代わりに、より時間の長い作業中に着用することに切り替え、作業中の約30分から40分、着用し続ける事が出来ています。次の目標は、パズルや他の活動時にも着けることです。

最初の「マスクを着用する」というハードルはクリアできたので、今後もあせらず、ご本人のペースに合わせて取り組んでいく方針です。

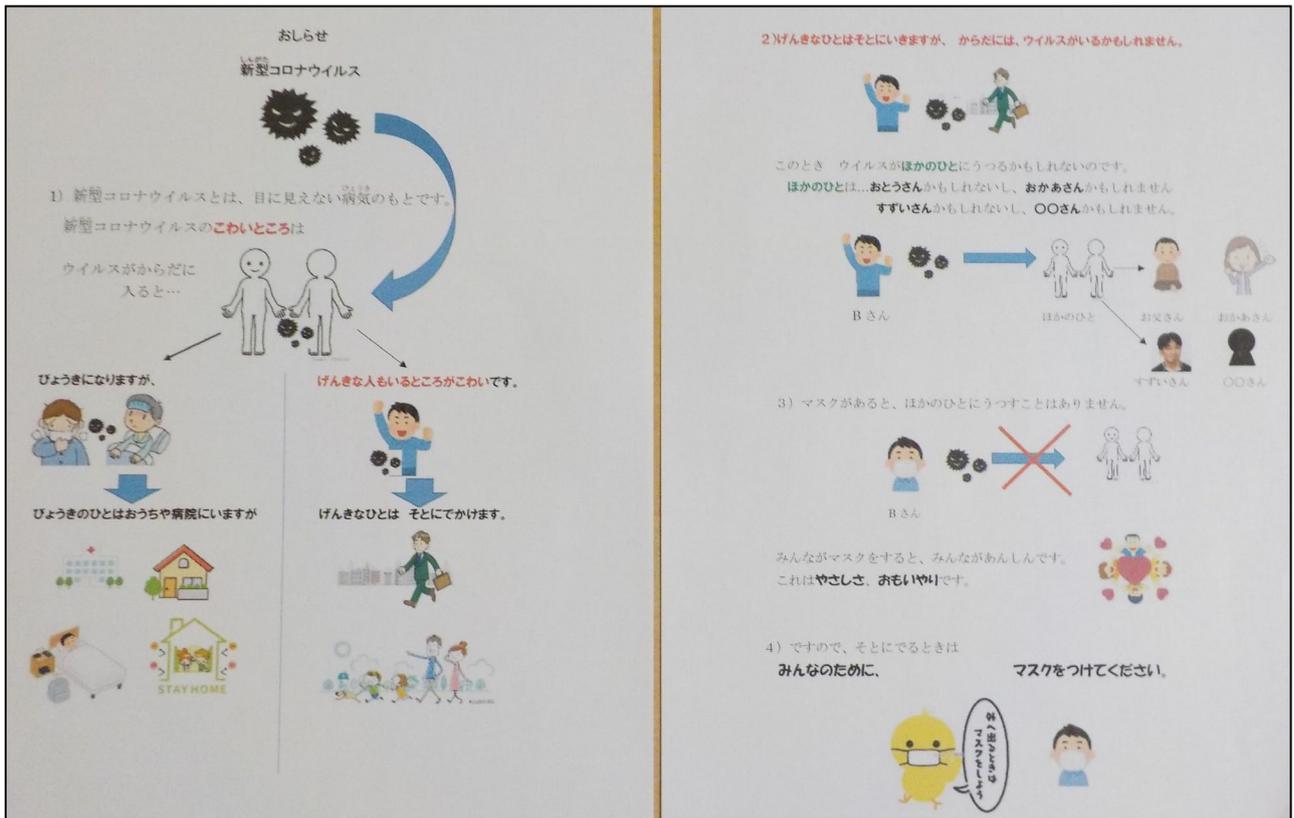
次にご紹介するのは、私が直接関わったグループホームを利用されているBさんです。職員の説明に、ご本人自身が納得した様子で着用したケースです。

最初は色や素材を変え、ご本人に選んでいただく形で伝えると着けてくれましたが、2日後には拒否するようになりました。マスクを渡そうとすると手で押しのけ、受け取ることすらしません。どうして着けてくれないのか、日々考えていました。そんな時、ご本人のお母様から「本人は納得しなければ行動しない」というお話を伺いました。その時に私は、ご本人自身が、「自分は咳も鼻水も出ていない。健康なのに何故マスクを着けなければいけないのか」(マスク=病気の人がつけるもの)と、考えているのではないかと思立ちました。

その仮説のもと、イラスト付きの文書を作成し、ご本人に「お話があります」と伝え、リビングで見せしました。内容はご本人が拒否している案件なので、途中で部屋に戻ってしまうのではないかと不安はありましたが、結果は3分にわたり、私と一緒に文書を読むことができました。(※ソーシャルストーリーブック/キャロル・グレイさんの本を参考にしました)。

文書を作る上で注意したことは、日頃関わる中で感じるBさんの性格です。ご本人は他人の手伝いをすることが好きです。日頃、職員が食器を洗っていると隣に立って拭いてくれたり、朝食の下準備を手伝ってくれたり、廊下をモップ掛けしてくれたりします。「ありがとう」「助かります」「やさしい！」等と声をかけると嬉しそうに笑うことが多いです。これはこっとなはうすだけでなく、ご本人が通っているわたげでも同様です。手伝いをして他者から感謝されることに喜びを見出されている様に感じます。また、自分で決めると自発的に行える傾向がある、その性格をふまえて作った文書が以下の内容です。

「コロナウイルスは怖い病気です。ウイルスが体に入ると病気になります。でも、ウイルスが体に入っても元気な人もいます。だから怖い病気なのです。ウイルスが体に入っても元気な人は外に出かけます。その時、他の誰かにうつってしまうかもしれません。その『他の誰か』はご両親やわたげやこっとなはうすの人たちかもしれないのです。うつった人は熱が出たり、咳が出るかもしれません。あなたは元気でも、マスクをすることは他の人に対するやさしさであり、思いやりなのです」(一部改訂)



ご本人にお見せした文書

文書の趣旨としては「自分の体調如何に関わらず、相手に対する配慮の為、マスクを着けて欲しい」ということです。最後に「私はこう思っています。マスクを着けるかどうかは、あなたが決めて欲しいんです」と伝え、話を終えました。正直「思いやり」という抽象的で、曖昧で、概念的な内容が伝わるかどうかはわかりませんでした。しかし結果としては翌日以降毎日着用することが出来るようになったのです。

ちなみに、この文書と一緒に読んだ後、ご本人に渡したところ、Bさんは自室に持って行きました。Bさんは気に入らない内容の文書は破って捨てる傾向があるのですが、お渡しして半年近く経っても、自室の引き出しにしまってありました。どの部分をご本人の心に刺さったのかはわかりませんが、翌日から毎日着用していることから、納得して頂けるだけの内容が含まれていたのではないかと思います。

マスクなしでスーパーなどに行くのは気が引けますし、実際「マスクをしていない人は入店禁止」というお店も少なくありません。医療機関には更に行きにくいでしょう。地域で生活する上で必要な外出は当然あります。マスクが出来ない事で、必要な外出もできなくなることはご本人にとって不利益です。また、一人で行動される方などはマスクをしていないことで、トラブルに巻き込まれることへの心配も尽きません。



コロナウイルスには誰が感染してもおかしくありません。彼らも予防だけでなく、他人に感染させないよう、不安にさせないよう、努力が必要です。どうしてもマスクを着けられないケースはあると思います。その時は移動方法等で違う対応が必要になってくるかもしれません。が、結果はどうあれ、マスクを着ける必要性を伝えることは我々支援者の責任であると思っています。私も全員が一日中、マスクを着用する事は難しいと思っています。できなくてもそれはそれで仕方がないのかもしれないとも思います。良くないことは「この人は無理だよ」「出来ないに決まっている」と考え、取り組むことすらしなないことです。

Aさんの作業の様子を見にふぁずに行った際、もう一つ良い話を聞くことが出来ました。別の男性、Cさんとさせてもらいますが、2~3分の余暇活動を行う際、マスクを着用することにしているのです。これ以外の時間は着用していません。実際着用しているのはほんのわずかな時間です。それでも....

Cさんのご家族にこの話をお伝えしたところ、「あ、できるのか。じゃあ家族で出かける時も着けてみよう」と思って頂き、ご家庭でも外出時等、ご本人にマスクを着用するよう伝える関わりを始めたというのです。小さな取り組みでも、ご本人をとりまく人たちが様々なことを感じ、関わり方が変わっていくのです。支援者が取り組んだことを他者が目にし、耳にして実際に動くということは、その支援は周りの人が見て「私もやってみよう」「私にもできるかも」と思える支援ということであり、私にとっては一つの理想に近い形です。

取り組みの結果、失敗することもあるでしょうし、やりとりが逆効果になってしまうことだってあるかもしれません。しかし、関わる人が増え、視点が增えることで、プラスになることの方が多いと私は信じています。

日頃アドバイスを頂いているスーパーバイザーは、自閉スペクトラム症の方々は「期待された以上のことはしない」とよく話されます。まずは我々が、たとえ1分でもいいので、マスクを着用してもらうことを考える、期待することが必要なのです。その為にご本人にどう伝えるのか、どう関わるのか、AさんやCさんのように好きなことをしている時なら大丈夫など、日頃の関わりから得られるご本人の性格や好き嫌い等の情報(アセスメント)が活かされる機会であり、今回のマスクの一件でもご本人をいかに知っておくかということが肝になるのだと、改めて実感しています。



ご本人自らマスクを着用。良い表情です。

法人単位資金収支計算書

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位事業活動計算書
(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

		(単位:円)			
勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入				
	0184 障害福祉サービス等事業収入	136,265,000	136,555,951	-290,951	
	0197 その他の収入				
	0198 借入金利息補助金収入				
	0199 経常経費寄附金収入	446,000	446,000		
	0200 受取利息配当金収入	9,267	9,280	-13	
	0201 その他の収入	2,656,184	2,659,449	-3,265	
	0202 流動資産評価増等による資金増加額				
	事業活動収入計(1)	139,376,451	139,670,680	-294,229	
	支出				
	0129 人件費支出	105,434,605	105,469,570	-34,965	
	0130 事業費支出	11,310,575	11,310,584	-9	
	0131 事務費支出	11,996,926	11,987,144	9,782	
	0137 支払利息支出				
0138 その他の支出	1,059,440	1,059,440			
0140 流動資産評価増等による資金減少額					
事業活動支出計(2)	129,801,546	129,826,738	-25,192		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	9,574,905	9,843,942	-269,037		
施設整備等による収支	収入				
	0204 施設整備等補助金収入	936,400	936,400		
	0205 施設整備等寄附金収入				
	0206 設備資金借入金収入				
	0207 固定資産売却収入				
	0208 その他の施設整備等による収入	143,253	143,253		
	施設整備収入計(4)	1,079,653	1,079,653		
	支出				
	0143 設備資金借入金元金償還支出				
	0144 固定資産取得支出	21,603,310	21,563,310	40,000	
	0145 固定資産除却・廃棄支出				
	0147 その他の施設整備等による支出				
	施設整備支出計(5)	21,603,310	21,563,310	40,000	
	施設整備資金収支差額(6)=(4)-(5)	-20,523,657	-20,483,657	-40,000	
その他の活動による収支	収入				
	0210 長期運営資金借入金元金償還寄附金収入				
	0211 長期運営資金借入金収入				
	0212 長期貸付金回収収入				
	0213 投資有価証券売却収入				
	0214 積立資産取崩収入				
	0217 サービス区分間長期借入金収入				
	0220 サービス区分間長期貸付金回収収入				
	0221 事業区分間繰入金収入				
	0223 サービス区分間繰入金収入				
	0224 その他の活動による収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	0149 長期運営資金借入金元金償還支出				
0150 長期貸付金支出					
0151 投資有価証券取得支出					
0152 積立資産支出	1,504,500	1,504,500			
0155 サービス区分間長期貸付金支出					
0160 拠点区分間繰入金支出					
0161 サービス区分間繰入金支出					
0162 その他の活動による支出					
その他の活動支出計(8)	1,504,500	1,504,500			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,504,500	-1,504,500			
予備費支出(10)					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-12,453,252	-12,144,215	-309,037		
前期末支払資金残高(12)	162,641,733	162,641,733			
当期末支払資金残高(11)+(12)	150,188,481	150,497,518	-309,037		

		(単位:円)			
勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益				
	0075 障害福祉サービス等事業収益	136,555,951	121,832,400	14,723,551	
	0089 経常経費寄附金収益	446,000	460,760	-14,760	
	0090 その他の収益	634,079	489,206	144,873	
	サービス活動収益計(1)	137,646,030	122,782,366	14,863,664	
	費用				
	0015 人件費	106,974,070	95,068,096	11,905,974	
	0016 事業費	11,310,584	10,316,292	994,292	
	0017 事務費	11,987,144	11,355,692	631,452	
	0027 減価償却費	9,382,675	9,560,254	-177,579	
	0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,510,522	-4,465,320	-45,202	
	0029 徴収不能引当金繰入				
	0031 その他の費用				
	サービス活動費用計(2)	135,143,951	121,835,014	13,308,937	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,502,079	947,352	1,554,727		
サービス活動外増減の部	収益				
	0092 借入金利息補助金収益				
	0093 受取利息配当金収益	9,280	9,294	-14	
	0096 投資有価証券評価益				
	0098 その他のサービス活動外収益	2,015,370	1,684,430	330,940	
	サービス活動外収益計(4)	2,024,650	1,693,724	330,926	
	費用				
	0033 支払利息				
	0036 投資有価証券売却損				
	0037 投資有価証券売却損				
	0038 その他のサービス活動外費用	1,059,440	918,590	140,850	
	サービス活動外費用計(5)	1,059,440	918,590	140,850	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	965,210	775,134	190,076	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	3,467,289	1,722,486	1,744,803	
特別増減の部	収益				
	0100 施設整備等補助金収益	936,400		936,400	
	0101 施設整備等寄附金収益				
	0103 固定資産売却益				
	0104 固定資産売却益				
	0107 サービス区分間繰入金収益				
	0110 サービス区分間固定資産移管収益				
	0111 その他の特別収益				
	特別収益計(8)	936,400		936,400	
	費用				
	0040 基本金組入額				
	0041 資産評価損				
	0042 固定資産売却損・処分損	10	3	7	
	0043 国庫補助金等特別積立金取崩額(除)				
0044 国庫補助金等特別積立金積立額	936,400		936,400		
0045 災害損失					
0048 サービス区分間繰入金費用					
0051 サービス区分間固定資産移管費用					
0052 その他の特別損失					
特別費用計(9)	936,410	3	936,407		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-10	-3	-7		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,467,279	1,722,483	1,744,796		
繰越活動増減差額(12)	310,143,255	308,420,722	1,722,483		
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	313,610,534	310,143,255	3,467,279		
繰越活動増減差額の部					
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	313,610,534	310,143,255	3,467,279		

社会福祉法人名 社会福祉法人 横須賀たんぼの郷

貸借対照表
令和 3年 3月 31日現在

資産の部		負債の部						
		当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
0001 流動資産	154,717,204	166,568,394	-11,851,190		0006 流動負債	4,219,686	3,926,661	293,025
1111 現金預金	131,808,366	144,787,305	-12,978,939		2111 短期運営資金借入金			
1121 有価証券					2112 事業未払金			
1131 事業未収金	21,455,430	20,658,105	797,325		2113 その他の未払金	1,096,671	976,390	120,281
1132 未収金	17,322	27,120	-9,798		2114 支払手形			
1133 未収補助金	412,767		412,767		2121 役員等短期借入金			
1134 未収収益					2122 1年以内返済予定設備資金借入金			
1135 受取手形					2123 1年以内返済予定長期運営資金借入金			
1141 貯蔵品					2124 1年以内返済予定リース債務			
1142 医薬品					2127 1年以内返済予定拠点区分間長期借入金			
1144 給食用材料					2128 1年以内返済予定「サービス区分間長期借入金			
1161 立替金	250,564	211,830	38,734		2129 1年以内支払予定長期未払金			
1162 前払金					2131 未払費用	2,059,054	2,038,815	20,239
1163 前払費用	772,755	807,804	-35,049		2132 預り金	9,638	12,008	-2,370
1171 1年以内回収予定長期貸付金					2133 職員預り金	943,034	899,448	43,586
1173 1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金					2141 前受金			
1174 1年以内回収予定「サービス区分間長期貸付金					2142 前受収益			
1175 短期貸付金					2144 拠点区分間借入金			
1177 拠点区分間貸付金					2145 サービス区分間借入金			
1178 サービス区分間貸付金					2151 仮受金	111,289		111,289
1181 仮払金		76,230	-76,230		2152 賞与引当金			
1191 その他の流動資産					2211 その他の流動負債			
1192 徴収不能引当金					0007 固定負債	16,998,400	15,493,900	1,504,500
0002 固定資産	345,272,700	331,730,828	13,541,872		2311 設備資金借入金			
0003 基本財産	151,818,635	156,867,727	-5,049,092		2312 長期運営資金借入金			
1211 土地	83,679,372	83,679,372			2313 リース債務			
1212 建物	68,139,263	73,188,355	-5,049,092		2314 役員等長期借入金			
1221 定期預金					2316 拠点区分間長期借入金			
1222 投資有価証券					2317 サービス区分間長期借入金			
0004 その他の固定資産	193,454,065	174,863,101	18,590,964		2321 退職給付引当金	16,998,400	15,493,900	1,504,500
1311 土地	120,328,622	103,792,102	16,536,520		2322 長期未払金			
1312 建物	1,261,621	4,693,805	-3,432,184		2411 その他の固定負債			
1313 構築物	6,371,381	6,742,344	-370,963					
1314 機械及び装置								
1315 車両運搬具	6	7	-1					
1316 器具及び備品	1,943,971	1,367,255	576,716		0009 基本金	41,510,583	41,510,583	
1317 建設仮勘定	3,931,000		3,931,000		3111 基本金	41,510,583	41,510,583	
1319 有形リース資産					0010 国庫補助金等特別積立金	81,539,330	85,113,452	-3,574,122
1321 権利	21,907	33,278	-11,371		3211 国庫補助金等特別積立金	81,539,330	85,113,452	-3,574,122
1322 ソフトウェア					0011 その他の積立金	42,111,371	42,111,371	
1323 無形リース資産					3221 その他の積立金	42,111,371	42,111,371	
1324 投資有価証券					0012 次期繰越活動増減差額	313,610,534	310,143,255	3,467,279
1325 長期貸付金					3311 次期繰越活動増減差額	313,610,534	310,143,255	3,467,279
1327 拠点区分間長期貸付金					3312 (うち当期活動増減差額)	3,467,279	1,722,483	1,744,796
1328 サービス区分間長期貸付金								
1329 退職給付引当資産	16,998,400	15,493,900	1,504,500					
1331 長期預り金積立資産								
1332 その他の積立資産	42,111,371	42,111,371						
1333 差入保証金								
1334 長期前払費用	7,390	150,643	-143,253					
1341 その他の固定資産	478,396	478,396						
資産の部合計	499,989,904	498,299,222	1,690,682		純資産の部合計	478,771,818	478,878,661	-106,843
					負債及び純資産の部合計	499,989,904	498,299,222	1,690,682

脚注
1. 減価償却費の累計額
2. 徴収不能引当金の額

